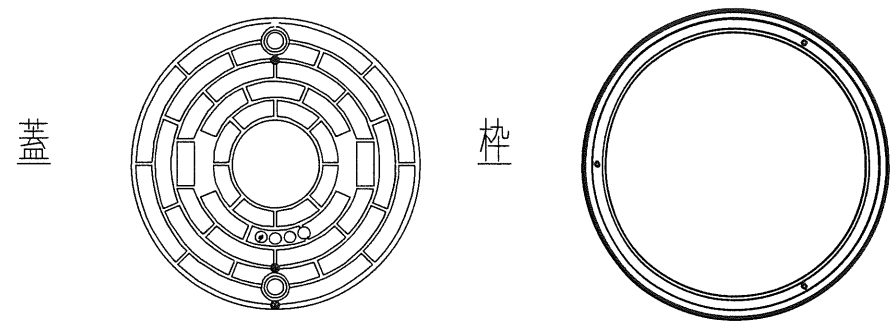


FRP製マンホール
(ロック付・パッキンなし)



寸法・規格表

マンホール	パイプ	A	B	C	D	T-1	T-2	T-4	T-6
300φ	300φ	328	300	359	30	○	○	—	—
350φ	370φ	385	345	424	30	○	○	—	—

※ マンホールの枠は各仕様共通です。

安全・破壊荷重

マンホール	T-1		T-2		T-4		T-6	
	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重
300φ	2.5 KN	10 KN	4.9 KN	19.6 KN	—	—	—	—
350φ	2.45 KN	9.8 KN	5.0 KN	20 KN	—	—	—	—

安全荷重（選定目安）とは

SHASE-S規格によれば、敷地周辺道路および敷地内道路で5トントラック以上の重車両が通過する場合50KN（5000Kgf）、敷地内道路で普通乗用車（2001cc以上）および4トントラック以下の車両が通過する場合15KN（1500Kgf）、建物内および敷地内で小型乗用車車両（2000cc以下）通行する場合5KN（500Kgf）を安全荷重と規定している。

破壊荷重とは

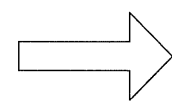
試験体（蓋）を圧縮試験機で破壊し、その耐えた最大荷重。通常安全荷重の4倍とする。

※ マンホールの説明

T-1； 1ton荷重用
T-2； 2ton荷重用
T-4； 4ton荷重用
T-6； 6ton荷重用

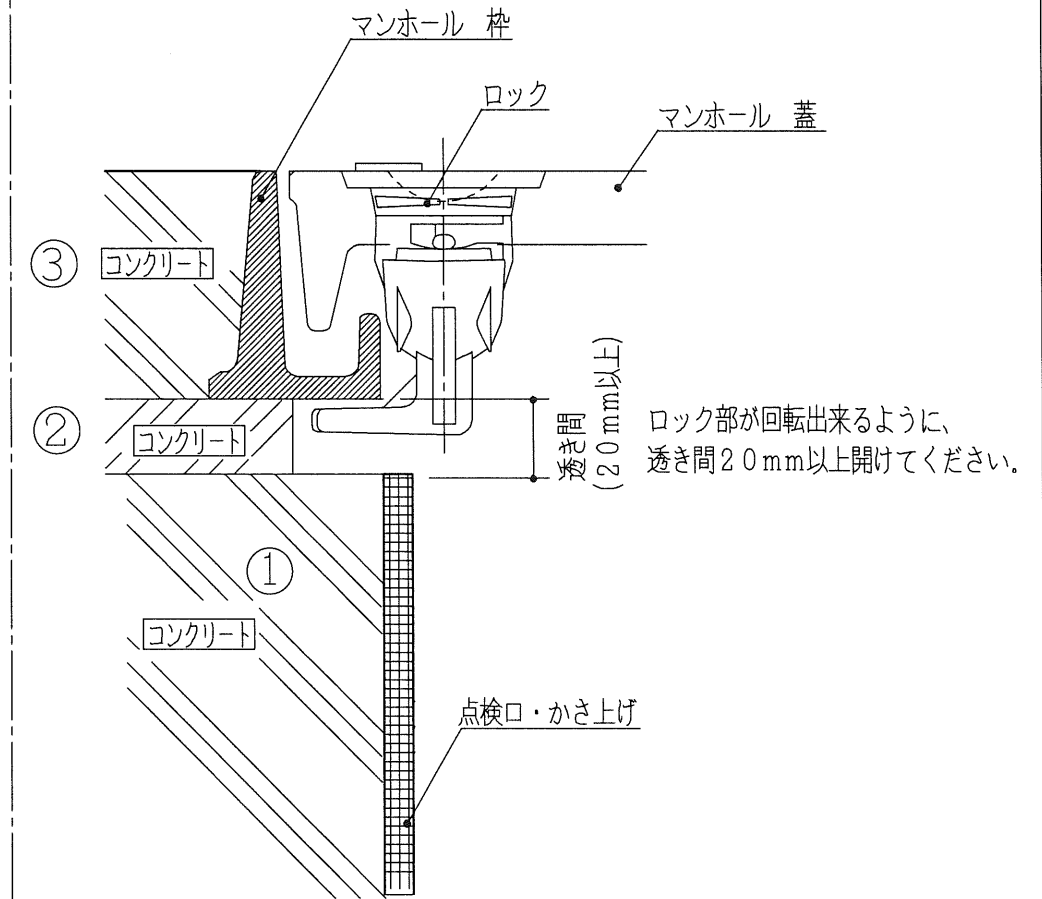
注意事項

下記の様な問い合わせが殺到・・・
『既存のマンホールの外径が 000φ ある。これと同じ蓋がありませんか？』



マンホール蓋は、メーカーにより溝の位置も、溝深さも異なりますので、ピッタリ合う物がないと思われます。既存の枠を固めているコンクリートははずして、これに近いマンホールをご利用下さい。

FRP製マンホール（ロック式）の施工方法
300φ、350φの場合



- 1、点検口・かさ上げの回りをコンクリート ① で固める。
- 2、ロックが回転する隙間を設けるため、コンクリートを打つ。 ②
(上部に車、重量物が乗る場合、直接かさ上げに荷重がかからないのを兼ねています。)
- 3、固めたコンクリートの上にマンホール枠を乗せ、再びコンクリート ③ で固める。

マンホール	日付	14.02.28	製図	KM
	尺度	1/20	担当	
図面名 FRP製（蓋；レジコン、枠；PP） 外形寸法図	図法		校閲	
	図番	K B 0 4 - N o 0 1 A A		
ネポン株式会社				